

11/29 いのちについて
学ぶ時間



妹背牛中学校で3年生を対象に「思春期講座(命の授業)」が保健センターと連携して行われました。助産師による講演では妊娠から出産までの過程をひと通り学び妊婦の生活の大変さや子どもが生まれたときの感動、親や周りの人の気持ちをイメージしました。その後は妊婦疑似体験教材を使用し、妊婦の生活の大変さを実感。周りの人がどうサポートすればよいかも生徒たちが考えました。また、赤ちゃんとのふれあいを通して、改めて命の尊さについて学びました。

11/21 2年ぶりに介護劇
が上演



妹背牛町民劇団による介護劇が妹背牛町民会館で上演されました。高齢化が進む本町で、介護について町民に理解を深めてほしいと、平成25年から認知症をテーマにした演劇を毎年開催。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、2年ぶりの開催となりました。今回は時代劇の「水戸黄門」をベースにした物語でこの演目は5年前に続き2回目の上演。笑いを誘う場面や時事問題などを交えたり、アクションも行うなど見どころ満載でした。

12/2 令和3年度生きがい講座が
開催



妹背牛町老人クラブが主催する「生きがい講座」が妹背牛町老人福祉センターで行われました。町内在住の60歳以上の方が対象で、例年とは違い時間を短縮しての開催で午前中で終了。開講式が行われた後、妹背牛駐在所の寺地正典所長による特殊詐欺防止についての講話が行われました。最後は睦月会による舞踏発表が行われ参加者たちを魅了しました。講座は全部で5回の開催を予定しています。

11/30 オンラインで応援
大使の選手と交流



11月30日、妹背牛町応援大使オンライン選手交流会が妹背牛町民会館で開かれました。会場には100人ほどが来場し、野球少年団、中学校野球部、北海道日本ハムファイターズ妹背牛後援会から合わせて4名が、応援大使の井口和朋投手と杉浦稔大投手へ質問を行いました。最後は後援会の高橋久夫会長が代表して2人の選手にエールを送り、スクリーン越しに記念撮影を行いました。交流会の後には応援大使グッズが当たる大抽選会も行われ、会場は大盛り上がりとなりました。

12/7 令和3年度交通安全ポスターコンクール

令和3年度妹背牛町交通安全ポスターコンクールが開催され11月29日に選考会、12月7日に表彰式が小学校、中学校でそれぞれ行われました。受賞者は下記のとおり各部門4名ずつの計12名。田中町長より受賞者へ表彰状が手渡されました。

小学生の作品は妹背牛温泉ペペルロビーに、中学生の作品はJ A北いぶき妹背牛支所(金融店舗)に展示されています。



	中学生の部	小学6年生の部	小学5年生の部
妹背牛町長賞	かわもり あやね 河森 絢音	かない そい 金井 素里	きしもと はな 岸本 惺南
交通安全協会長賞	しもごう にいな 下郷 新菜	まさき ゆうな 佐々木 佑奈	すずき ゆうげん 鈴木 優元
妹背牛町教育長賞	かし ひかり 梶 ひかり	すずき ちかな 鈴木 愛菜	すがわら ことろう 菅原 琥太郎
妹背牛駐在所長賞	うがい あゆむ 鵜飼 歩夢	たかみ きち 高見 咲智	せきよし りさ 関吉 理沙

12/12 初めて触れる日本の食文化に感動



わかち愛もせうしひろばのそば道場で町の地域おこし協力隊が企画したそば打ち体験が行われました。8月に体験したそば打ちが楽しく、「町内のベトナム人実習生等にも体験してほしい」と考え、「手打ちそば倶楽部もせうし」のメンバー協力のもと実現。参加した実習生一人ひとりにメンバーの皆さんが講師として付き、そば打ちを指導していただきました。最後はメンバーが打ったそばを参加者全員でいただきました。

12/10 素敵に年を重ねるために



12月10日、わかち愛もせうしひろばでスキンケアをしながら口腔ケアができる「口から食べる幸せをサポートするスキンケア教室」が開かれました。化粧を楽しむ高齢女性の美容と健康の相乗効果を図る介護予防事業で、2017年から妹背牛町、定岡歯科医院、民間企業2社(Willmake143、資生堂)の4者が共同で行っています。今回はより具体的な効果をデータ化する全国的なアンケート調査のため、10月から3カ月連続で行ってきました。